

公立

京都府立医科大学

問合せ先 学生課入試担当

☎602-8566 京都市上京区河原町通広小路 上る 梶井町 465

☎(075) 251-5167 <http://www.kpu-m.ac.jp/>

教育目標&特色

明治5年に京都東山の山麓、栗田口青蓮院において療病院として診療と医学研究を開始して以来、145年の歴史を誇るわが国でも最も古い医科大学のひとつであり、京都に西洋医学の教育病院を設立したいという京都府民自らが寄付を募って建設し、運営を京都府が行うという極めてユニークな設立の経緯をもっている。そうした経緯があるため、建学の当初から、明治の開国によって可能となった世界トップレベルの医学を、地域の医療に導入することを目的に、「世界のトップレベルの医学を府民の医療へ」をスローガンとして、現在まで教育・研究・診療のあらゆる面で全国でも有数の実績を残してきた。現在は地域医療への貢献に積極的に取り組んでいる。

カリキュラムの特色

入学すると、下鴨キャンパスで教養教育の講義と実習が行われる。2年次からは河原町キャンパスに移って基礎医学教育が開始され、順次、社会医学、臨床医学の講義と実習を履修する。入学当初、早期体験学習としてのさまざまな医療・福祉施設見学を行い、医学・医療に対するモチベーションを高めるような医学準備教育に努めている。教養教育では一般教育のほか京都工芸繊維大学や京都府立大学との3大学教養教育共同化科目を提供し、より幅広い教養を身につけることができる。2年次には基礎医学が始まり、3年次にかけて解剖学、生理学、分子医科学、病理学、感染病態学、免疫学、薬理学を履修し、臨床医学教育を受けるための基礎を築くことになる。3年次には社会医学(保健・予防医学、法医学)を履修する。3年次の2学期からは臨床医学が始まり、4年次にかけて履修するが、従来の解剖学、生理学、内科学、外科学といった系統講義のほかに、総合講義制度を大幅に取り入れ、特定のテーマについて横断的な講義が用意されている。例えば、遺伝子診断・治療という科目では、内科、小児科、微生物学教室等、基礎と臨床の教員により総合的講義が行われ、教育効果をあげている。臨床実習は4年次のⅢ学期から72週間かけて行われ、より実践的な教育によってプロフェッショナルリズムを持った医療人を育成する。実習は京都で最大規模を誇る附属病院で行うが、大学の関連病院へも学外実習の場として高学年の学生を積極的に派遣している。関連病院では実習を通して多くのプライマリ・ケア症例を学ぶが、アメリカのオクラホマ大学医学部やイギリスのリーズ大学医学部などでの4週間の実習留学も可能になっている。専門教育における授業は単なる講義に片寄ることなく、ベッドサイド・ティーチングや担当医とのマンツーマンによる教育も取り入れて、診断と治療のエッセンスを五感で体得する教育を進めており、教養教育・専門教育のいずれも各学年においてクラス担任制をとって緊密な指導体制を整備している。

大学DATA

- ◆沿革 明治5年創設の京都療病院が前身。大正10年に旧制大学となり、昭和27年に医学部を設置した。
- ◆学部所在地 *河原町キャンパス(専門教育)=問合せ先に同じ。アクセス JR京都駅から市バスで府立医大病院前下車、徒歩2分。
- *下鴨キャンパス(教養課程)=☎606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5 アクセス 地下鉄烏丸線北山駅下車、徒歩7分。JR京都駅から市バスで府立大学前下車、徒歩5分。
- ◆学部学科・定員 医学部=医学科107名
- ◆大学院 医学研究科=総合医科学専攻70名
- ◆おもな附属施設 附属病院、小児疾患研究施設(小児期特有の重篤な疾患の教育、研究、診療を行う研究施設)、脳・血管系老化研究センター(老化のメカニズムの解明が目的)など。
- ◆学寮 設置していない。

参考資料

●医師国家試験合格率

区分	全 体				新 卒				既 卒			
	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率	志願者	受験者	合格者	合格率
2017	122	122	108	88.5%	115	115	104	90.4%	7	7	4	57.1%
2016	113	113	105	92.0%	110	110	104	94.5%	3	3	1	33.3%
2015	107	106	103	97.2%	101	100	98	98.0%	6	6	5	83.3%

●学校納付金(2018 年度)

区 分	府内出身者			府外出身者		
	入学手続時	初年度総額	2 年次以降	入学手続時	初年度総額	2 年次以降
入学金	282,000 円	282,000 円	-	493,000 円	493,000 円	-
授業料	-	535,800 円	535,800 円	-	535,800 円	535,800 円
合 計	282,000 円	817,800 円	535,800 円	493,000 円	1,028,800 円	535,800 円
6 年間総計	3,496,800 円			3,707,800 円		

*授業料は前期・後期に分納する。ほかに諸会費が必要になる。

●奨学金制度

日本学生支援機構奨学金のほかに、京都府立医科大学 MIM 奨学金、地方公共団体や民間奨学団体の奨学金制度がある。

2018 年度入試要項

募集人員

区分	一般前期	一般後期	推薦	A O	編入学
医学科	100	-	7	-	-

試験日程

試験区分		出願期間	試験日	合格発表日	手続締切日
一般入試	前期日程	1月22日～1月31日	2月25日・26日	3月9日	3月14日
	後期日程	募集しない			
推薦入試		1月17日～1月22日	1月27日か28日	2月7日	2月13日

入試科目

試験区分	教科	科目(→は選択科目数)	配点	時間
センター試験	国語	国。	100	80
	地歴・公民	世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫政経→1。	50	60
	数学	数Ⅰ・数Aと、数Ⅱ・数B、簿、情報→1の計2。	100	各60
	理科	物、化、生→2。	100	各60
	外国語	英(リスニングを含む)、独、仏、中、韓→1。	100	80
個別試験	数学	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B(列べ)。	200	120
	理科	物基・物、化基・化、生基・生→2。	200	150
	外国語	コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ。	200	120
	面接	個人面接。	-	-

*面接は医師及び医学研究者にふさわしい資質、適性を評価する。

推薦入試

①**推薦条件**＝京都府内の高校または本人か保護者が京都府内に居住する成績概評A段階の現役・1浪・2浪・3浪・4浪で、人物・学力とも優秀であり、将来医学の分野において社会に貢献する意欲があり、卒業後は一定期間京都府が指定する医療機関において卒業研修を行い勤務することを確約できる者。②**選考方法**＝書類審査・センター試験(5教科7科目)の成績・面接によって選考する。センター試験は総配点の85%を選抜の基準とする。<センター試験> ◇国語＝国。◇地歴・公民＝世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫政経から1科目選択。◇数学＝数Ⅰ・数A、数Ⅱ・数Bの計2科目。◇理科＝物、化、生から2科目選択。◇外国語＝英(リスニングを含む)。面接は医師となるにふさわしい資質・適性に加えて、京都府の地域医療に貢献する意欲を評価する。

***合否判定** 一般入試はセンター試験・個別試験の総合点で判定する。面接の結果によって医師及び医学研究者となるにふさわしい資質・適性を欠くと判断されれば、学力試験の成績にかかわらず不合格とする。

***二段階選抜** 一般入試は約4倍で実施する。

***試験場** 一般＝学科試験は本学広小路キャンパス(JR 京都駅から市バスで府立医大病院前下車、徒歩2分)。面接は第1段階選抜の結果を通知する際に通知する。推薦＝本学。

***受験料** 一般17,000円、推薦17,000円

入試のポイント

一般入試のセンター試験は5教科7科目、個別試験は数学・理科・英語の3教科+面接。配点ウエートは個別試験におかれているから、教科書を中心に基礎固めを完全にし、個別試験対策を万全にしたい。数学・理科・英語の3教科はいずれも幅広い知識が試される。過去問を研究して教科書で基礎を完全にするとともに、参考書などで応用力をつけておきたい。数学は大問4題で、全問記述式。難易度が高く、かなりの応用力が要求される。物理は大問3題で、力学、電磁気がよく出る。化学も大問3題で、出題のレベルはかなり高い。生物は大問4題で、幅疲労異分野から出題される。英語は読解門愛3題と英作文1題で、いずれも英語で質問される。読解問題はかなりの長

文で、記述量も多い。面接は医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性を評価するが、医師及び医学研究者となるにふさわしい資質・適性を欠くと判断されれば、学力試験の成績にかかわらず不合格とされるから、面接対策を万全にしておきたい。

2017年度入試DATA

●入学者選抜実施状況

* 2段階選抜は第1段階不合格者数を示す。

区分	募集人員	志願者	2段階選抜	受験者	当初合格	追加合格	合格者	競争率	入学辞退	入学者
前期日程	100	301	1	286	100	0	100	2.9	0	100
推薦入試	7	27	-	27	7	0	7	3.9	0	7

【合格者の成績】

カッコ内は2016年度。

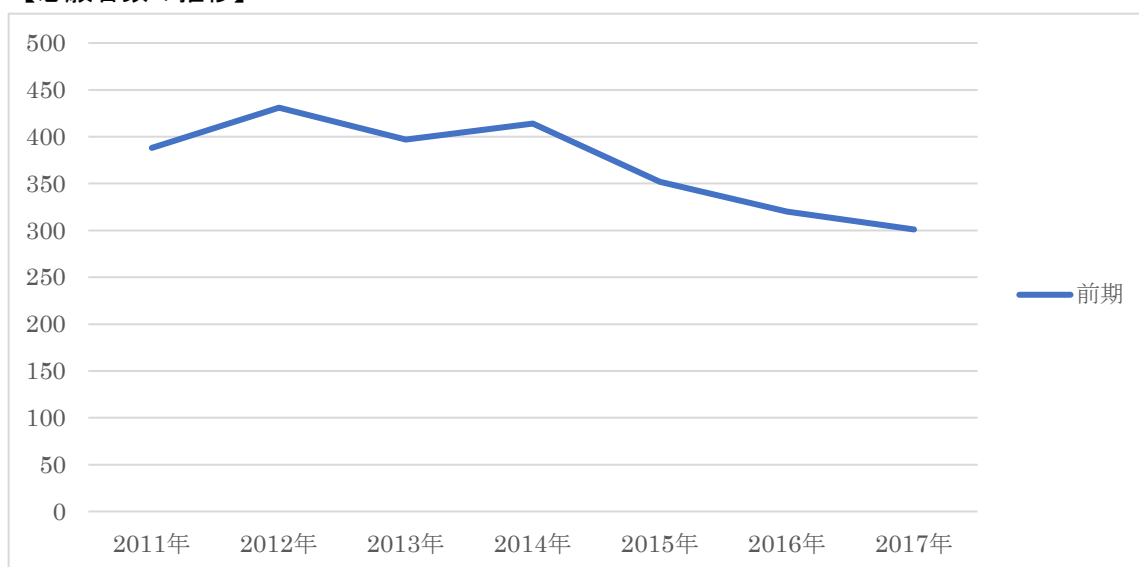
区分	配点	最高点	最低点	平均点
前期	1050(1050)	846.7(821.7)	713.9(686.7)	750.7(723.1)

*入学者の現浪別内訳 現役 54人、浪人等 53人。

*入学者の男女別内訳 男子 74人、女子 33人。

*入学者の出身地別内訳 近畿 68人(京都 46人、大阪 9人、滋賀 8人、兵庫 3人、和歌山 2人)、中部 6人、中国 5人、九州・沖縄 2人、北海道・関東・北陸・四国各 1人。

【志願者数の推移】



●小論文の内容

小論文は課さない。

●面接の内容

一般入試・推薦入試とも行う。一般入試は医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性を評価する。面接の結果によって医師及び医学研究者となるにふさわしい資質・適性を欠くと判断されれば、学力試験の成績にかかわらず不合格とされる。推薦入試は医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性に加えて、京都府の地域医療に貢献する意欲を評価する。